



心
最高の
設備 技術
最前線医療を行く

血管外科センター

か し じょう みやく りゆう
下肢静脈瘤、放置しないで!
そのだるさ、こむら返りetc.から開放されよう



足

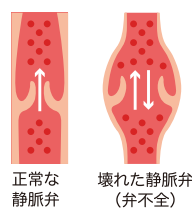
の血管が浮き出たり瘤状になったりする「下肢静脈瘤」。悪性の病気ではないが、足のだるさやむくみ、こむら返り、かゆみ、痛みなどが日常化したり、重症化すると色素沈着や潰瘍が起きたりして生活の質（QOL）を低下させる。最新の下肢静脈瘤治療を行い多くの改善症例を持つ、西の京病院・血管外科センターの今井崇裕先生に話を伺った。

下肢静脈瘤の原因

足の血液を心臓に戻す働きをしている静脈。ふくらはぎの筋肉によるポンプ作用と逆流防止弁による働きが大きいですが、その筋肉が弱かったり弁が壊れていたりすると血液がスムーズに戻れず、滞留・充満、静脈が太くなり屈曲していく。「日本人の30代からは55%、50代からは65%の方に何らかの静脈瘤があり、女性は男性の約1.2倍。弁が壊れる原因は様々ですが遺伝、立ち仕事、妊娠などが考えられます」



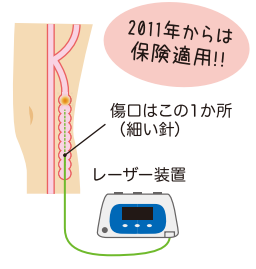
一生寝てれば発症しないが、現実的には無理!



日帰り手術など最新治療で負担減。痛み軽減・再発防止!

これまでの治療は、下半身麻酔や全身麻酔で手術に2時間、入院1週間と、患者の負担も大きいものだったが、近年は治療が進化し、短期入院や日帰りでの治療が可能になった。麻酔は局所のみ、治療法

もレーザーと高周波手術（約20〜30分）が主流だ。状態によっては、従来のストリッピング手術（静脈を切り取る／約30分）となるが、傷も1センチ以下と小さく傷跡も目立ちにくいとのこと。またストッキングの圧迫療法や注射による硬化療法を組み合わせることで、より質が高く再発率の低い治療を実現できる。「患者さんの症状、仕事内容や生活習慣などの問診と視診・触診、エコー（超音波）検査の上で診断し、最適な治療法を決めます」。



レーザー・高周波治療（血管内焼灼術）

原因となっている静脈を熱で閉塞させるもの。傷口が小さく痛みや出血のリスクが低いので、すぐに日常生活に戻れる。

弾性ストッキングを共同開発!

下肢の静脈還流を改善するアイテムの弾性ストッキング。同院では、県内の靴下製造企業と、畿央大学健康科学部人間環境テ

- こんな症状のある方は注意!
- 足の静脈が膨れる
 - ほてる・重い・疲れやすい
 - こむら返り（足がつかえる）
 - かゆみや湿疹がある
 - 皮膚が赤黒っぽくなる



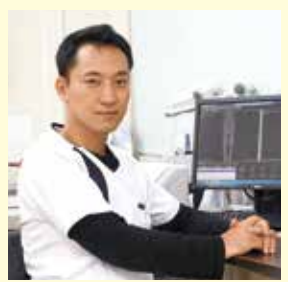
【段階的圧迫の構造】
足先から心臓への血液の戻りを助け、下肢静脈瘤のうっ血を改善する

私たちがスッと
はかせてみせます♪

*医療用として
年内に発売予定
(2,000円程度)

弾性ストッキングコンダクター

ザイン学科、帝塚山大学経済経営学部と協働し、NARRAソックス・プロジェクトを立ち上げ、機能性・デザイン性共に優れたものを開発した。着脱法は、同院の弾性ストッキングコンダクターが丁寧に指導する。



今井崇裕 医師
埼玉医科大学卒、日本静脈学会評議員、日本リンパ浮腫治療学会評議員、日本外科学会指導医・専門医、認定医、日本脈管学会専門医、血管内レーザー治療指導医・実施医など



血管外科スタッフ
昨年度は800件余りの下肢静脈瘤治療を行いました。下肢静脈瘤は、早期であるほど治療の選択肢が多く、足が軽くなるようになるよう改善できます。その他、深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）やリンパ浮腫も含めて、学会や講演会でも皆さんにお伝えしています。気軽にご相談ください。